



わたなべよしみつ
渡辺義光 議員



(市民クラブ)

地域の宝 郷土芸能団体

発表・継続・復活を支援



支援が望まれる大石平念仏剣舞

問 市指定無形民俗文化財は19件、旧3町村別では西根町8件、松尾村3件、安代町8件である。少子高齢化や地域活動の停滞などで後継者が不足し活動・伝承が難しい団体が多数ある。「地域の宝」郷土芸能の存亡の機である。支援策は。

市長 議員提案のDVDを15本制作し伝承活動や学習教材に活用している。各団体との情報交換会を再開し、実態調査する。発表の機会拡充や継承を広く支援する。**教育長** 児童生徒が文化や伝統を体験し地域への愛着を深めるよう育成に務める。

市議選挙の投票率
問 4月26日執行の市議選は初の女性議員誕生かと盛り上がったが58%の投票率で過去最低であった。投票バス巡回など環境整備に務めているが全体の投票率向上に結びつかない。評価は。

選管委員長 投票率は西根地区56%、松尾地区59%、安代地区66%である。選挙の争点、顔ぶれなどが投票率に影響するが、全国的に低落傾向である。市民の政治への関心と主権者教育が大切である。子ども議会は政治学習のよい機会である。

問 「馬を水辺に連れて行くことはできるが水を飲ませることはできない」のこゝろがある。投票行動に結びつくような市勢見学や郷土愛を育む教育の考えは。**企画総務部長** コミセン活動などを通じ地域の現状を学習し主権者教育につなぐ。



きたぐち いさお
北口 功 議員



(無会派)

森林バンク制度の設立

仲介役の役割に重点



伐採した後の山林 (松尾地区)

問 市内の新規大型太陽光発電計画は何力所あるか。**市長** 事前協議済計画4件、許可済計画2件ある中、大型施設は3件。

市長 国が進める森林経営管理制度の運用に向け森林所有者へ意向調査を実施している。**高齢者向けスマホ使い方冊子配布は**
問 市政の広報告知がスマートフォン(以下スマホ)

で確認できるが、使いこなせる人と苦手な人の差を解消する取り組みとして、岐阜市が配布しているスマホの使い方ハンドブックの八幡平市版を作っているか。**市長** 岐阜市の事例を参考に、皆さまがデジタル化の恩恵を受けられるよう関係

各課と連携し検討する。**LPガス災害バルク導入の検討は**
問 防災・危機管理において災害時、停電の長期化が大きな問題となる。平時と非常時に活用でき、耐震性、安全性に優れ、建設に補助

金活用で経費の半額が軽減できるこの取り組みを統合中学校に導入してはどうか。**市長** 平成26年に荒屋コミュニティセンターに同システムを導入した。今後統合中学校の建設に向けた計画をする際に判断したい。



やまぐちともふみ
山口朋文 議員



(改革推進クラブ)

区画線管理と安全対策を優先順位をつけ更新工事



劣化で消失したセンターライン

問 市内で劣化が進み消失もみられる区画線について、どのように把握し安全対策に取り組んでいるか。**市長** 道路、パトロールや市民からの情報により状況を把握している。交通量や学校周辺などを考慮し、継続的に更新工事を進める。

問 区画線の更新状況は。また、追越し禁止を示す黄色センターラインについて公安委員会との連携は。**建設課長** 区画線更新事業費は令和7年度は3131万円まで増額。黄色センターラインは警察へ情報提供し改善を要望していく。

問 学校周辺や交通量の多い路線では、区画線の劣化が安全面に大きく影響する。優先的な整備を求める。**建設課長** 交通量や周辺施設の状況を踏まえ優先順位を決定している。市道松尾線などについては今年度更新工事を予定している。

投票環境の整備
問 投票率低下について、年代による投票率の差をどう捉え分析しているか。**選挙管理委員会委員長** 年代別では60〜70代が高く、20〜30代の投票率が低い状況となっている。

問 若年層や現役世代の投票率向上のため、各SNSの年代別利用傾向を活かし、現役世代へ情報発信を強化してはどうか。**選挙管理委員会事務局長** SNSについて他自治体の事例を研究し、活用の可能性を検討していく。



鈴木絵美 議員
(八起会)

柏台保育所閉所について

改めて方針を検討



閉所方針が示された柏台保育所

問 令和9年度閉所について、方針そのものを含めて改めて検討する考えは。

市長 説明が急で不安を与えたことを反省している。議論が庁内のみで保護者の意見を伺う機会がなかった。閉所時期も含め、意見交換を重ね、早急に結論を出す。

問 保育所は就労を支える基盤。閉所方針の決定前に保護者の意向は確認したか。

福祉部長 事前の意向聴取は不十分で一方的な伝達となった。署名や鈴木議員の行った保護者アンケートの内容を真摯に受け止め、改めて方針を検討する。

して、期待感を高めていく。

問 子どもたちが本に親しむ「読書おもいで帳（読書通帳）」の導入は。

教育次長 新図書館システムに導入。専用デザインの通帳を作成しブックスタート事業などで幼児に贈呈。親子での読書習慣につなげていけると期待している。

問 ユニバーサルデザインと駐車場からの安全対策は。

市長 カラー舗装による視線誘導標設置、障がいのある人にかかわらず遊べる遊具の導入など、館内のデザインを含めて、誰もが安全に利用できる設計を徹底した。

オープン前の8テラス情報

問 施設の魅力周知と利用促進に向けた計画は。

市長 サイトやSNSでの発信、移動型おもちゃ美術館設置などにより、子育て世代へ継続的に魅力をPR



高橋悦郎 議員
(無会派)

400億円の財源確保は

各種基金と起債で確保



第3次総合計画を進める八幡平市

問 第3次総合計画前期基本計画が今年度から始まる。市の最大の課題である、若い人たちの転出をいかに減らしていくか、市長施政方針演述でも述べられている。例えば若者向けの住宅団地の整備には、今年度全く予算が付けられていないが。

市長 若い方々の転出を防ぎ定住を増やすには、若い方々の雇用の場確保を最優先にしたい。住宅団地の確保も同時進行だと財政的に厳しいと考えている。

問 新たな企業誘致の促進が必要として、GX産業団地の整備を進めるとして

をし、立地してくる企業にも建物や機械設備に対して強力な支援ができる。

問 前期基本計画の総計画額は400億円を超え過去最高額となっている。財政調整基金残高は約17億円しかなく、賄えるのか。

市長 他の基金も活用する

し、有利な起債も使う。

問 400億円の事業を進めるため、補助金、経常経費を見直すところがあるが。

市長 市民ニーズも変わってくる。補助金の一部で減額になる可能性も出てくることもあるが、市民福祉の向上は目指していく。



工藤多弘 議員
(松西会)



サウディンググ市場調査

3事業者から参加希望



休業中の岩手山焼走り国際交流村

問 岩手山焼走り国際交流村のサウディンググ型市場調査の目的と夏の施設の一部運営について伺う。

市長 同調査は、施設の活用方法について公募前に民間事業者から広く提案を求める対話手法である。現在3事業者から参加希望があ

り、夏の間に実際の施設をお試しで活用する「トライアルサウディンググ」も調整中である。活用の応募がない場合でも7月1日の山開きに合わせてトイレなどを利用できるよう配慮し、登山者の利便性を確保する。

問 中長期的な視点での工

リア運営や指定管理者の公募に対する考えは。

市長 市直営は困難であるが、エリア一体の安定経営と集客を進めるため、過去の事例にとらわれず中長期的な視点で運営を検討する。将来的に指定管理者を公募する際は、要件を満たすあ

農業振興について

問 資材価格の高騰に対する市独自の支援や、減少が

続く中小農家への対応策は。

市長 中東情勢などの影響で一部資材の納入が滞って

政務活動費収支報告(50音順)

1人月2万円 その使い道は

ここでは、令和7年度に各議員に交付された政務活動費がどのように使われたのかをお知らせします。
※各QRコードを読み取ることで、より詳細な内容を確認できます。
※パソコンで閲覧する方は、市ホームページの市議会ページ、「情報公開と広報活動」の政務活動費からご覧いただけます。

北口 功議員(無会派)	
交付額	220,000円
資料購入費	40,370円
返還額	179,630円

勝又安正議員(八起会)	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
事務所費	750円
返還額	124,610円

井上辰男議員(八起会)	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
資料購入費	1,420円
事務所費	750円
返還額	123,190円

工藤隆一議員(八起会)	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
事務所費	750円
返還額	124,610円

工藤直道議員(自由クラブ)	
交付額	240,000円
調査研究費	213,303円
広報費	34,050円
資料購入費	1,420円
返還額	0円

工藤多弘議員(松西会)	
交付額	240,000円
調査研究費	216,774円
広報費	17,770円
資料購入費	1,420円
返還額	4,036円

関 治人議員(八起会)	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
研修費	110,320円
資料購入費	15,770円
事務所費	750円
返還額	0円

齊藤隆雄議員(日本共産党)	
交付額	240,000円
調査研究費	204,860円
広報費	113,415円
返還額	0円

熊澤 博議員(自由クラブ)	
交付額	240,000円
調査研究費	213,633円
返還額	26,367円

議会の動き

(令和8年4月16日～7月7日)

4月

- ▶16日 議会広聴広報常任委員会
- ▶28日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査(例月現金出納検査)、盛岡広域環境組合監査(例月現金出納検査)

5月

- ▶7日 会派代表者会議、事務連絡会議、
- ▶11日 会派代表者会議
- ▶12日 令和8年第2回臨時会(～13日)、議員全員協議会
- ▶13日 総務教育常任委員会、産業民生常任委員会、議会広聴広報常任委員会、議会運営委員会、市政調査会総会
- ▶19日 総務教育常任委員会協議会
- ▶20日 産業民生常任委員会協議会

6月

- ▶3日 盛岡広域環境組合議会議員全員協議会、臨時会
- ▶8日 議会運営委員会
- ▶12日 議会改革推進会議議員研修会
- ▶15日 令和8年第2回定例会(～23日)、議会広聴広報常任委員会
- ▶16日 産業民生常任委員会
- ▶17日 総務教育常任委員会
- ▶19日 議会改革推進会議
- ▶23日 議員全員協議会、議会運営委員会
- ▶26日 議会広聴広報常任委員会
- ▶29日 盛岡広域環境組合監査(例月現金出納検査)

7月

- ▶1日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会、臨時会、議員研修会
- ▶7日 議会広聴広報常任委員会

問 中学校統合について、保護者、住民の説明会で示された約54億円の建設費について、一般財源、国県支出金、市債、基金の内訳は現時点でどのように計画しているのか。

の補助金を30%から50%と想定しており、残りについては、学校教育施設等整備事業債(交付税措置のある借金を検討している。工事費該当年度では3億円の負担と合わせて、10億円前後が一般財源になると想定している。

校長会議など周知
問 6月15日の国会において、日本教職員組合の組織議員から、自衛隊に入隊する子どもがいる家庭を差別する発言があったが、八幡平市の教職員も同様の考えで教育しているのか。

教育指導課長 そのような実態はないが、仕事に対しての公平・公正な考えを改めて校長会議などで周知していきたいと考えている。

現状確認して検討
問 松尾総合運動公園グラウンドゴルフ場、田山パークゴルフ場は維持費の負担がされているが、市総合運動公園パークゴルフ場には負担がないのは、不公平ではないか。

文化スポーツ課長 現状の使用状況を踏まえて、今後検討していきたい。



たむら まさと
田村正元 議員
(八起会)

建設費約54億の市負担額
現時点試算で10億円程度



さまざまな課題がある建設予定地

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。